

## 令和6年度 第1回学校運営協議会 熟議まとめ

テーマ：「誰もが通いたい学校、働きたい学校って何だろう？」

チーム：小学校チームと中学校チーム

時間：20分（実績30分）

### 【小学校チーム】委員の意見

- 学校に行くと友達に会える、放課後に個別に遊べる子どもがいる。  
高校になると少し違うが、小学校だと漠然と行かないことはなかった。  
いじめもなかった、勉強しに行くとはなかった。みんなと遊ぶが好き。
- 勉強好きな子はあまりいなかったと思う。  
どんどん人数が減ってきているので、グループになるのも少なくなる。  
そのグループで仲が悪くなったら、親としては心配になる。  
あんまりバラバラにならないようになつたら気負いなく学校に行けると  
思う。昔に比べ休み時間が短い感じがするが。
- 今の子どもたちも友達に会えるウエイトが大きいと思う。  
休み時間に友達と遊んだり、話をしたりするのが楽しみの子が多いと  
思う。学校としては勉強してもらうのが一番だが、それと同じぐらい  
友達と仲良くすることに注力するようにしている。  
その楽しみを持続してもらおう。勉強の中にも楽しみを見いだして欲しい  
と思っている。
- 勉強全部が嫌いではない。いすに座らない教科が好きだった。
- 中学校で取り組んでいる定期テストを廃止して単元テスト重視なのは  
勉強の励みになると思う。次に続いて働きたい学校についてに移ります
- 職場自体が明るくないとダメだと思う。職場に行って自分のすることが  
あって、一緒に働く仲間がいて、正当な報酬がもらえることではないか
- 昔より今の方が働きやすいのではないかと？たとえば、少年団活動が徐々  
に親主体になってきていることとか、ふだん職場でコミュニケーション  
が取れたり、上司が部下を気にかけてくれるようになった。  
昔は美容師をして、副店長をしていたが、上から2番目が一番たいへん  
だろうなと思う。
- トップが明るい職場も明るい。だから学校は校長が明るいと思う。
- 陸別の小中学校の校長はどちらも明るいと思う。
- 校長と教頭が明るく、連携を取れていれば良いのでは。
- 校長と教頭が意思疎通が取れていることが大事だと思う。  
何でもチャレンジできるような職場が大事なのは。  
教師でも順応できなくてすぐ止める人も多くなってきた。いくら校長や  
教頭が気を配ってもそれは止められないこともある。陸別は地域に支え  
られていると実感する。先生方も地域の行事に参加すると地域のよさが  
分かると思う。
- 先生方が明るい親も安心する。
- 少年団活動は教師の負担になっていた面がある。今、徐々にシフトして  
いくのは有り難いことだと思う。また、独り一人の良さを認めるのは  
子どもに接するときと同じだと思う。
- 自信を持っている先生に触れると安心する。参観日などでそう感じる  
ときがある。子どもも褒められるとうれしいが、大人も同じだと思う。
- パワハラとかセクハラがあると職場は働きにくい環境になると思う。  
校長と教頭が明るいそんなことはないだろうなと思う。

## 【中学校チーム】委員の意見

### ①誰もが通いたい学校とは？

- 子どもの目線としては、楽しいと思えば学校へは行くと思う。親としては、自然と楽しいと思ってほしい。楽しく学校に行き学力が上がるといいとおもうが、そうなるためには1つ1つの教科、授業が楽しくなるといいのでは。〇〇を学習したら△△ができるようになる、など先が見えるような学習など。
- 学校に行きたくないモードになっている気持ちでも行けるような学校がいいなと思う。それはどんなことかと考えていくと、行事？なのか。
- 体育祭が終わってすぐということもあり、そのような気持ちになっている可能性もある。行事というのは生徒が主体性を発揮できるものであって、生徒達が教員をあてにしないで自分たちで考え実行するもの。あまり教えすぎず、自分で考えながら行うことがいいのかもしれない。ただ授業でもそれを行うとなると、学力は個人差があり難しくなってくる。
- 自分も黙って授業を聞いているのはつらかった記憶がある。何らかの作業を取り入れた実際に体験できる授業、動物の飼育活動など、なんらかの作業などの活動時間があるのは楽しいと思う。
- 授業や行事でも驚いたり、なんで？と好奇心を持たせて、自分から調べたい、わかりたいという気持ちになると楽しいのではないか。そういう授業がいいかな。
- 色々先生たちも興味を持たせるような授業を行ったりするが、なかなか難しいところ。今後さらに子ども達に楽しい気持ちになってもらえるよう授業改善に向け研修を行ったりしている。なにか興味を持てるきっかけを設けられるよう着物や雅楽の授業、北見工大の訪問等実施したりしているところ。

### ②誰もが働きたい学校とは？

- 授業などについても自分がやりたい、いいなと思って進めることは楽しいが、上からの指示で自分が疑問に思うことを行うことは難しい。
- 前の職場では自分の意見を言える環境は全くなかった。今はそのようはことはなく比較的自由にやらせてもらっている。まわりの環境が大事ななと思う。威圧的な職場は働きたくないと思う。
- 学校のことをいえば、子どもを見る目が必要と思う。人が足りないと思う。外から見たときに。
- 自分は外部の人間という立場で働いている。訪問して思うのは、職場のコミュニティがうまくいっているところは入りやすい。受け入れてもらえる環境というのは感じるものがある。